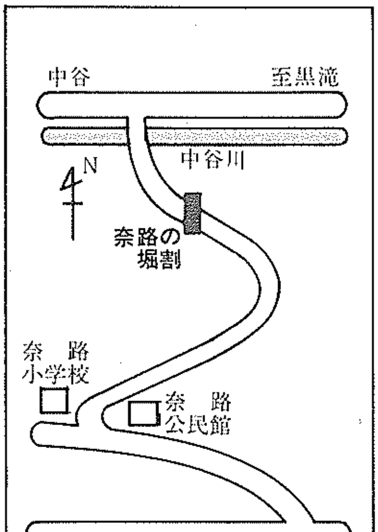
昭和51年6月15日発行（毎月2回1日・15日発行）編集と発行／南国市広報委員会／事務局／企画財政課広報広聴係

史跡・文化財めぐり⑭（奈路の堀割）

——とじて保存しておくと便利です——



市道の奈路・黒滝線にそって、奈路小学校から約700m上ったところに、奈路の堀割がある。

これは嘉永2年（1849）に、川村泰四郎のせがれ代七が、領主桐間氏の命を受けて掘りぬいたもので、長さは約60m、中谷川の水を奈路に流し、田野々、新田、宮の谷、藤丘の各地区合せて4町をうるおしている。

当時としてはなかなかの大工事、土工頭は後免の住人、シゲジであったという。

広報 なんこく

6/15 1976 No.220
編集・発行／南国市広報委員会